



真栄



上のQRコードより
本校ホームページに
アクセスできます

令和3年4月7日（水） 第2号

第32回入学式によせて ～学校長式辞～

新入生の皆さん、ようこそ真栄中学校へ。

本来であれば、皆さんは2・3年生の先輩、地域関係者の方々からの温かい拍手で迎えられ、この体育館で式を迎えるはずでしたが、皆さんと保護者の方々だけの入学式になってしまったこと、とても残念です。皆さんから見えるステージ上の装飾、廊下や教室の装飾は、2・3年生の先輩、先生方が心を込めて、制作してくれたものです。本校の先生方、そして、今日はこの式場にはいませんが、教室でモニターを通してこの式を見ている2・3年生のみんなが、皆さんが入学するのを待っていました。ご入学おめでとうございます。

ここで、真栄中学校で生活を始める新1年生のみなさんに、これから心に留めてほしい3つのことをお話します。

まず1つ目は、これからの中学校生活で、「何か一つでも、頑張っで打ち込めるものを見つけて、一生懸命努力してほしい」ということです。

アメリカのプロバスケットボールリーグで、現在活躍している八村塁選手を知っていると思います。彼は、中学校ではプロ野球のイチロー選手にあこがれ、野球部に所属していましたが、途中からバスケット部に転部をしました。その時はドリブルもうまくできない状況だったといひます。それから毎日熱心に練習して、実力をつけ、今はアメリカで活躍できるまでに成長しています。中学生時代の彼の口癖は「一生懸命を楽しむ」です。

皆さんも、勉強でもスポーツでも、3年間でいろいろなことにチャレンジして、「一生懸命にやってみた」という経験を積んで大きく成長して欲しいと願っています。

2つ目です。皆さんには、この真栄中学校で、「支え合って生きる」ということを目標にしてほしいと思います。人は一人では生きていくことができません。気付かなくても、誰かの支えがあって、毎日を生活しています。ですから、仲間への感謝が大切なのです。得意なこと、苦手なこと、好きなもの・・・など、人は様々です。そのような「様々な」友達が、実は自分をおある時は支えてくれているのだということ。友だちが困っていたら、今度は自分が助けてあげる。というお互いに支え・助け合う意識を持って、学校生活を送ってください。

最後に3つ目です。真栄中学校では、「あいさつと合唱」を大切にしています。特にあいさつは人と人をつなぐ大切な手段です。友達同士、先輩や先生、そして地域や家庭でも、明るいあいさつを心がけて生活をしてください。

「良い言葉は良い行動をもたらす。悪い言葉は悪い行動をもたらす」といひます。

「ありがとう」「頑張っで」と励ます言葉に人は優しさと勇気をもらひます。「ムカつく」「どうせ」といひ言葉で人は元氣とやる氣を失ひます。皆さんには、お互いに良い言葉をかけあい、優しさと勇氣をもって中学校生活を送っでほしいと思います。いよいよ今日から中学校生活が始まります。期待と不安があるでしょうが、中学1年生として、勉強や行事など、「普通」のことに「普通通り」打ち込んでください。先生方も皆さんのことを応援していきまひす。

最後になりますが、本日お越しいただいた、PTA会長様並びに役員の皆様、そして、保護者の皆様、本日は式へのご列席ありがとうございました。また、お子様のご入学おめでとうござひます。中学校における教育活動は、保護者の皆様や地域の方々のご理解とご協力が必要です。子供たちの学校生活がお充実したものになるよう、教職員一同、誠心誠意、努めてまいりますので、ぜひ皆様のご理解とご協力をお願い申し上げ、本校第32回入学式の式辞といたひします。

校長 伊藤公一

第32回入学式 在校生歓迎の言葉

雪が解け、暖かな日差しを感じられるようになりました。このような良き日に、入学式を迎えられた新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。

新しい制服に身を包み、他の小学校から集まってきたたくさんの新しい仲間と、今日からみなさんの中学校生活がスタートします。これからの生活をワクワク楽しみにしている人、中には不安と緊張でいっぱいの人もあるかもしれません。私たち2、3年生も、最初は皆さんと同じでした。小学校生活との違いが多く、戸惑うこともありました。でも、それ以上に、中学校のルールに慣れ、たくさんの行事等の活動に取り組み、過ごす毎日、とても楽しく充実しています。皆さんにもぜひその楽しさを一緒に味わってほしいと思っています。

小学校では、行事や委員会など、先生が多くのことを決め、みなさんをリードしてくださったと思います。中学校では、自分達が中心になって物事を進めます。悩むこともたくさんありますが、そんな時は先生方がサポートしてくださいます。そうして、力を合わせて取り組むことの大変さと楽しさを、私たちは学んできました。みなさんにもぜひ、一緒にそのことを実感してほしいです。

また、自分たちに物事が任される、ということは、その分責任が伴います。楽しい事だけをやる、というのではなく、自分達の生活の中にある様々なルールも自分達で守ることができる、そんな真栄中学校を私たち2、3年生は目指しています。

これから始まる中学校生活は、新しく、日々新鮮に感じることの連続です。同じように、初めて出会う友達、学級、部活動の仲間、新しい先生方との出会い。中学校で過ごす日々は長いようでとても短いです。三年後には、ここで出会うたくさんの人たちとのつながりに感謝できるよう、ぜひ充実した時間にしてください。

皆さんが、一日でも早く、この真栄中学校に慣れ、三年間を最高のものにできるよう、応援しています。

第32回入学式 新入生代表のこたば

やわらかな日差しとともに、雪が溶け、桜が咲き始めるこの季節。私は大好きな小学校を先月3月23日に卒業しました。とても寂しく、目を閉じれば小学校生活とたくさんの思い出がよみがえってきます。そんな大好きな小学校を卒業し、今日から中学生としてこの真栄中学校に通います。

「春は出会いと別れの季節」この言葉を一度は聞いたことがあるのではないのでしょうか。この言葉は今の私たちにぴったりです。まず、「出会い」は、この真栄中学校で、これからたくさんの仲間、先輩方、先生方、そして新しい自分に出会います。「別れ」は小学校の仲間やお世話になった先生方、後輩たちとの別れ、そして小学生の自分との別れです。

小学校を卒業するときに、たくさんの悲しい別れを経験した分、中学校ではたくさんのワクワクするような新しい出会いがあると思います。制服を着たり、思いっきり部活動を楽しんだり、教科ごとに色々な先生方にも出会えます。きっとこの真栄中学校で過ごす時間は充実したものであり、たくさんの知識を得ることができると思います。そして今、教室からみてくださっている上級生の皆さん、先生方、保護者の皆様、本日は私たちの入学を祝ってくださりありがとうございます。これからよろしくお祈りします。

